

問1 おしべの先についている粉のことを何といいますか。

問2 おしべとめしべが1つの花の中にある特とくちょう徴をもつ植物はどれですか。

問3 スギやマツ、トウモロコシなどの花で、花粉が風で運ばれやすいよう軽くなっている特とくちょう徴を持つ花を何と呼びますか。

問4 柱頭の表面には、花粉をしっかりと受け止めるためにどのような特とくちょう徴がありますか。

問5 受粉とは、どこにある何が、どこにつくことですか。

問6 めしべのもとの方のふくらんでいる部分は、成長すると何になりますか。

問7 日光が直接当たるところで顕微鏡けんびきょうを使ってはいけけないのは、どのような危険きけんがあるからですか。

問8 めしべのもとの部分には、どのような特とくちょう徴がありますか。

問9 めしべの先の手ざわりがべとべとしているのは、どのようなことに役立ちますか。

問10 プレパレートを作けんびきょうって顕微鏡で観察するとき、プレパレートは顕微鏡のどの部分けんびきょうに置いてクリップでとめますか。

問11 アブラナの花のつくりには、どのような特とくちょう徴がありますか。

問12 花さの咲く植物が、種子から芽が出て育ち、花が咲いて受粉し、実の中に新しい種子ができるという一連の過程をくり返すことを何といいますか。

問13 ヘチマやカボチャ、コスモスなどのように、こん虫に花粉を運んでもらう特とくちょう徴をもつ花を何よと呼びますか。

問14 おしべの先にあり、花粉がつくられる部分の名前は何かですか。

問15 ヘチマの花のうち、めしべがあるのはどの花ですか。

問16 めしべとおしべべつべつが別々の花にあり、1つのかぶに2種類の花がさく植物のことを何よと呼びますか。

答え合わせ・解説 No.1

問1	答え 花粉	おしべの先についている粉のことを花粉といいます。
問2	答え アブラナの花	アブラナの花は、おしべとめしべが1つの花の中にある植物です。
問3	答え 風に花粉が運ばれる花	スギやマツ、トウモロコシなどは、風力を借りて花粉を運ぶ「風に花粉が運ばれる花」です。
問4	答え 表面がべたべたしている。	柱頭の表面はべたべたしており、運ばれてきた花粉がつきやすくなっています。
問5	答え おしべの先にある花粉が、めしべの先につくこと	受粉は、おしべの先にある花粉が、めしべの先につくことをいいます。
問6	答え 実	めばなのもとの方のふくらんでいる部分は、やがて実になります。
問7	答え 目を痛めてしまう危険	日光が直接当たるところで顕微鏡を使うと、強い光が目に入り、目を痛めてしまう危険があります。
問8	答え ふくらんでいて、のちに実になる。	めしべのものはふくらんだ形をしており、花がさいたあとに成長して実になります。
問9	答え 花粉をくっつきやすくすること	めしべの先がべとべとしており、花粉をしっかりとつきやすくするためです。
問10	答え ステージ	プレパラートは、顕微鏡のステージの上に置いてクリップで固定して観察します。
問11	答え おしべとめしべが1つの花の中にある。	アブラナの花は、1つの花の中におしべとめしべの両方があると特徴を持っています。
問12	答え 植物の生命のつながり	花の咲く植物は、発芽、成長、開花、受粉、そして実と種子ができるという過程をくり返すことで、生命を次の世代へとつないでいきます。
問13	答え 虫に花粉が運ばれる花	ヘチマやカボチャ、コスモスなどは、昆虫に花粉を運んでもらう「虫に花粉が運ばれる花」の仲間です。
問14	答え やく	おしべの先にある、花粉がつくられる部分を「やく」といいます。
問15	答え めばな	ヘチマの花には2種類あり、めしべがあるのは「めばな」です。もう一方の「おばな」にはおしべがあります。
問16	答え めばなとおばながある植物	めしべとおしべが別々の花にあり、1つのかぶにめばなとおばなの2種類の花が咲く植物のことです。